

## がん診療連携拠点病院の指定更新について

### 1 がん診療連携拠点病院について

がん診療連携拠点病院（以下「拠点病院」という。）とは、全国どこでも質の高いがん医療を提供することができるよう、都道府県知事からの推薦に基づき、厚生労働大臣が指定する病院で、専門的ながん医療や緩和ケアの提供、地域のがん診療を担う医療機関との連携、がん患者に対する相談支援や情報提供など、質の高いがん医療を提供する役割を担っている。

### 2 拠点病院等の種類

#### (1) 拠点病院

ア 都道府県がん診療連携拠点病院<sup>※1</sup>：都道府県に1カ所

イ 地域がん診療連携拠点病院（高度型）：同一のがんの医療圏<sup>※2</sup>に1カ所

※ 指定要件の見直しにより、令和5年度から廃止になります。

ウ 地域がん診療連携拠点病院：がんの医療圏<sup>※2</sup>に原則1カ所

エ 地域がん診療連携拠点病院（特例型）

：指定期間中に指定要件を欠くなどの事態が発生した場合

(2) 特定領域拠点病院：特定のがんについて、当該都道府県内の最も多くの患者を診療する病院

(3) 地域がん診療病院：隣接するがんの医療圏のがん診療連携拠点病院との連携を前提にグループとして指定する。

#### ※1 都道府県がん診療連携拠点病院

地域がん診療連携拠点病院の指定要件に加え、さらに、「都道府県における診療機能強化に向けた要件」、「都道府県における相談支援機能強化に向けた要件」及び「都道府県拠点病院の診療機能強化に向けた要件」の諸要件を満たす必要がある。

#### ※2 がんの医療圏

都道府県が医療計画にて定めるがんの医療圏のことをいう。

神奈川県では、2次医療圏と一致している。

### 3 指定関係書類等の届け出状況について

令和4年9月16日付け健が発0916第2号厚生労働省健康局がん・疾病対策課長通知「がん診療連携拠点病院等の指定の推薦手続き等について」に基づき、県内の医療機関に周知したところ、22病院から指定更新申請があった。

医療圏	病院名 (◎：都道府県拠点病院、 ★高度型)	所在地	指定 期間	現 況 報 告	指 定 更 新	新 規
横浜	横浜労災病院	港北区	R2. 4. 1～ R5. 3. 31 (3年)		●	
	昭和大学横浜市北部病院	都筑区	R2. 4. 1～ R5. 3. 31 (3年)		●	
	済生会横浜市東部病院	鶴見区	R2. 4. 1～ R5. 3. 31 (3年)		●	
	◎神奈川県立がんセンター	旭区	H31. 4. 1～ R5. 3. 31 (4年)		●	
	横浜市立市民病院	神奈川区	R2. 4. 1～ R5. 3. 31 (3年)		●	
	★横浜市立大学附属病院	金沢区	R2. 4. 1～ R5. 3. 31 (3年)		●	
	みなと赤十字病院	中区	R2. 4. 1～ R5. 3. 31 (3年)		●	
	横浜市大市民総合医療センター	南区	R2. 4. 1～ R5. 3. 31 (3年)		●	
	昭和大学藤が丘病院	青葉区	R3. 4. 1～ R5. 3. 31 (2年)		●	
川崎北部	★聖マリアンナ医科大学病院	宮前区	R2. 4. 1～ R5. 3. 31 (3年)		●	
	新百合ヶ丘総合病院	麻生区	R4. 4. 1～ R5. 3. 31 (1年)		●	
川崎南部	川崎市立井田病院	中原区	R3. 4. 1～ R5. 3. 31 (2年)		●	

	関東労災病院	中原区	H31. 4. 1～ R5. 3. 31 (4年)		●	
	川崎市立川崎病院	川崎区	R4. 4. 1～ R5. 3. 31 (1年)		●	
相模原	相模原協同病院	緑区	R4. 4. 1～ R5. 3. 31 (1年)		●	
	★北里大学病院	南区	R2. 4. 1～ R5. 3. 31 (3年)		●	
横須賀 三浦 横須賀 三浦	横須賀共済病院	横須賀市	R3. 4. 1～ R5. 3. 31 (2年)		●	
	湘南鎌倉総合病院	鎌倉市	R2. 4. 1～ R5. 3. 31 (3年)		●	
湘南東部	★藤沢市民病院	藤沢市	R2. 4. 1～ R5. 3. 31 (3年)		●	
湘南西部	★東海大学医学部附属病院	伊勢原市	R2. 4. 1～ R5. 3. 31 (3年)		●	
県央	大和市立病院	大和市	R2. 4. 1～ R5. 3. 31 (3年)		●	
県西	小田原市立病院	小田原市	R2. 4. 1～ R5. 3. 31 (3年)		●	

#### 4 現在指定要件未充足の病院について

	指定要件未充足内容	対象病院	対応状況
1	臨床倫理的、社会的な問題を解決するための、具体的な事例に則した、患者支援の充実や多職種間の連携強化を目的とした院内全体の多職種によるカンファレンスを月1回以上開催	横浜労災病院	令和4年12月までに月1回以上の頻度にする予定
2	難治性疼痛に対する神経ブロック等に係る、自施設における麻酔科医等との連携等の対応方針の定め	相模原協同病院	神経ブロック実施に不足している物品、場所、各部署との連携等についてとりまとめ、ロードマップを作成中。令和4年12月末までに、難治性疼痛のブロックのコンサルテーションについて、疼痛マニュアルに記載予定
3	ホームページ等での、神経ブロック等の自施設における実施状況や連携医療機関名等、その実施体制についての分かりやすい公表	済生会横浜市東部病院	令和4年12月より実施体制を整備の上、公表予定
		小田原市立病院	令和4年12月末までに整備予定
4	ホームページ等での、自施設における緩和放射線治療等の実施体制等について分かりやすい公表	小田原市立病院	令和4年12月末までに分かりやすい記載への変更・整備予定
5	都道府県や地域の患者会等と連携を図り、患者会等の求めに応じてピア・サポートの質の向上に対する支援等を実施	昭和大学横浜市北部病院	令和4年12月までに実施予定
6	がん患者の自殺リスクに対し、院内で共通したフローを使用し、対応方法や関係機関との連携について明確化	相模原協同病院	令和4年12月末までに体制整備予定
		小田原市立病院	令和5年1月末までに整備予定
7	緩和ケア研修等の実施のほか、当該がん医療圏において顔の見える関係性を構築し、地域の診療従事者を対象とした研修やカンファレンスを定期的に開催	関東労災病院	新型コロナウイルス感染症の流行で研修会が中止になっていたが、令和5年2月に外科で研修会の開催を予定

8	自施設の診療従事者等に、がん対策の目的や意義、がん患者やその家族が利用できる制度や関係機関との連携体制、自施設で提供している診療・患者支援の体制について学ぶ機会を年1回以上確保	横浜労災病院	令和4年12月までに予定
		関東労災病院	新型コロナウイルス感染症の流行で研修会が中止になっていたが、令和4年11月にWeb配信による研修を予定
		相模原協同病院	新型コロナウイルス感染症の流行で集合研修を実施できていなかったが、令和5年3月までに開催予定
		東海大学病院	診療従事者等を対象にがん対策の目的や意義等について、定期的に勉強会及びe-Learning受講などを計画する。(e-Learningは2023年2月に実施予定)
9	必要に応じてオンラインでの相談を受け付けるなど、情報通信技術等も活用	昭和大学横浜市北部病院	令和4年12月までにオンラインでの相談を受け付けられる体制を整備予定
10	がんゲノム医療への治療及び支援を自施設もしくは連携する施設への紹介等で提供できる治療・支援の内容を広報	横浜労災病院	令和4年12月までに広報予定
11	当該がん医療圏内のがん診療に関する情報について、病院ホームページ等でわかりやすく広報	横浜労災病院	令和4年12月までに広報予定
12	医療法等に基づく医療安全にかかる適切な体制を確保している。	横浜労災病院	令和4年12月中に修了予定(部門長:医師)
		昭和大学横浜市北部病院	令和4年12月までに当該研修を修了予定(薬剤師)
13	日本医療機能評価機構の審査等の第三者による評価	聖マリアンナ医科大学病院	令和4年5月30日～6月1日に審査を受けており評価待ちの状況
		大和市立病院	猶予期間内に実施を検討
		小田原市立病院	令和4年11月17、18日に日本医療機能評価機構の審査を受ける予定